

平成二十八年年度 入学試験（平成28年3月5日）

「国語総合」

戸田中央看護専門学校

一、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

今、我々はさまざまな問題に直面しています。それらの問題の本質は何なのか。それは我々が人間圏をつくって生きはじめたために生じた問題です。つまり、文明の問題です。例えば地球環境問題があります。では地球環境問題の本質とは何か。人間圏が生まれたために、地球システムの物質やエネルギーの流れが変わります。流れが変われば地球システムの他の構成要素の中身も変わっていきます。この、他の構成要素の中身が変わることを、我々は「(A) 汚染」と呼んでいるわけです。

【a】現代に至って汚染が(あ) 観測されたということは、人間圏が大きくなったからですが、ふつう、我々のこの問題に対する認識は、そうではなくて、我々が地球に誕生した初めての、汚染を引き起こすような存在だと考えるものです。したがって、汚染は善悪の問題だと思っている。例えば「地球にやさしい」などというキャッチフレーズがそれです。汚染をどのように考えるなら、(B) 論理的には人間圏をつくって生きる生き方そのものを否定せざるを得ません。地球システムの構成要素が変われば、全体の流れは変わり、必ず汚染という問題が引き起こされるからです。人間圏をつくって生きるという生き方そのものを否定すると、種の一つとして生物圏の中に再び戻る以外に解決策はないということになります。このような(C) 認識をもたず、善悪や倫理の問題として環境問題を議論することは、人間中心主義の最たるもので、我々がこれから解決すべき問題は何かという認識としては正しいものとはいえません。

【b】地球システムの構成要素は時間とともに変化してきました。個々の構成要素が、いつ、いかにして生まれたか、その結果地球システムの状態がどうなったか、これらを記述するのが、システム論的な地球史です。このような認識からすると、構成要素が変わるたび地球システムの状態が変化する、すなわち「汚染」が起こっているということになります。例えば大陸が誕生すると海に大陸物質が流入し、海の状態は変化します。それを今風にいえば、「海は汚染」されたということです。しかし、大陸が生まれた結果、地球は金星のように海が蒸発してしまうこともなく、海が存続し、我々のような「生命体」が生まれてきたのです。また、生物圏が生まれれば大気や海や大陸は「(c) サン素」によって汚染されます。地球の歴史とは、このように実は「汚染」の歴史なのです。善悪で議論するという立場に立つと、地球の歴史とは「悪」の歴史ということになります。

【c】ですから、地球環境問題を「問題」としてとらえ、汚染が悪であるとするような発想そのものを変えないかぎり、新しい二一世紀の生き方など考えられないのです。環境問題の本質とは、地球システムに人間圏という新しい構成要素ができ、そのために地球システムの物質やエネルギーの流れが変わった結果なのです。「環境問題」とは、今我々が初めて経験する問題ではなく、地球史上何度となく起こっている問題です、現在の地球環境問題とは、したがって、地球システムの中で安定な人間圏とは何ぞやという議論をすることです。

【d】「地球にやさしい」という言葉についても少しふれておきましょう。「地球にやさしい」とは、我々の存在、生き方が地球に影響を及ぼさないということです。論理的にそのことの意味をつきつめていくと、人間圏をつくって生きるな、生物圏の中の一つの種として生きなさい、ということになるわけで、しかし、我々が生物圏の中の種の一つとして生きるという場合、生物圏の中の物質循環を考え

て生きられる人の数を計算すると、**㉓**「人程度にしかありません。今、世界の人口は六〇億人を超えますが、千分の一くらいに減らさなければいけないということです。人口を大幅に減らさないかぎり」地球にやさしい」生き方などはできないのです。

あるいは、一步^(㉔)ユズって、人間圏をつくって生きる生き方まで否定しない場合でも、少なくとも地球システムには大きな影響を及ぼさない^(D)「フロー依存型の人間圏でないと、「地球にやさしく」はありません。これでも、今の人口の六分の一くらいしか生きられません、フロー依存型人間圏としては十〇億人くらいの人口が上限です、あと六分の五くらい人口を減らさないかぎり、フロー依存型の人間圏は成立しないのです。ですから、**(E)**「地球にやさしい」というキャッチフレーズは、実はとんでもない表現なのです。それは本来は「人間にやさしい」ということのはずですが、人間中心主義の立場に立つ人間の**㉔**をみごとに表したキャッチフレーズともいえるのではないのでしょうか。

フロー依存型の人間圏の場合、現在の人口六分の一くらいしか生きられません、この人間圏は地球システムの中では安定です。地球システムの側に^(㉕)ク動力があるため、それと調和的なのです。一〇〇年や一〇〇〇年で文明が**(お)**ハ絶したり、文明の問題が起こったりしません。例えば、江戸時代が三〇〇年も続き、その間江戸を流れる川はきれいで基本的にはいわゆる環境問題が生じなかったことを考えてみればよいでしょう。

(松井孝典『宇宙人としての生き方』岩波書店、による)

問一、傍線部(あ)く(お)のカタカナの部分と同じ漢字を使うものを、次の各群の1〜4のうちから、それぞれ一つ選びなさい。

【あ…解答番号1、い…解答番号2、う…解答番号3、え…解答番号4、お…解答番号5】

(あ) 観ソク	1、催ソク	2、ソク量	3、規ソク	4、約ソク
(い) サソ素	1、サン加	2、サン婦人科	3、サン歩	4、炭サン
(う) ユズって	1、ジヨウ造	2、添ジヨウ員	3、謙ジヨウ語	4、白ジヨウ
(え) ク動力	1、ク痛	2、ク除	3、俳ク	4、ク別
(お) ハ綻	1、制ハ	2、ハ閥	3、ハ握	4、ハ裂

問二、傍線部(A)「汚染」について、筆者はどのように定義しているか。もっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。

【解答番号6】

- 1、有害物質により地球環境が破壊状態になること。
- 2、構成要素の変化に伴って地球システムの状態も変化すること。
- 3、人間の生活によって地球システムに影響を与えること。
- 4、物質やエネルギーの流れが地球システムに悪影響を与えること。

問三、傍線部（B）「論理的には人間圏をつくって生きる生き方そのものを否定せざるを得ません」とあるが、筆者がそのように断言する理由は何か。もつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号7】

- 1、汚染を善悪の問題として考えると、人間中心主義は地球システムにおいて「悪」になるから。
- 2、地球システムを構成する人間圏が拡大したことで、人間が汚染を引き起こす存在となるから。
- 3、地球システムの構成要素が変わったことで人間圏の中身が変わり、物質循環も変化させるから。
- 4、人間圏という新しい構成要素の発生は、地球システムの物質やエネルギーの流れを変えて汚染を発生させたから。

問四、傍線部（C）「認識」の内容を説明したのもつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号8】

- 1、環境問題を人間圏拡大の問題とする認識
- 2、環境問題を善悪や倫理の問題とする認識
- 3、環境問題をこれから人間が解決する問題だとする認識
- 4、環境問題を解決する方法は種の一つに戻るしかないとする認識

問五、空欄 ー に入る語としてもつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号9】

- 1、原始的
- 2、霊的
- 3、知的
- 4、合理的

問六、空欄 ㊦ に入る語としてもつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号10】

- 1、国際的
- 2、倫理的
- 3、大衆的
- 4、神秘的

問七、空欄 ㊧ に入る数としてもつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号11】

- 1、五万
- 2、五〇万
- 3、五〇〇万
- 4、五〇〇〇万

問八、傍線部（D）「フロー依存型の人間」とはどのように生きることか。その内容としてもつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号12】

- 1、汚染環境を発生させずに生きること
- 2、地球システムの処理能力の範囲内で生きること
- 3、生物圏の中で多くの種の一つとして生きること
- 4、人間中心の視点で環境問題を考えて生きること

問九、傍線部(E)「『地球にやさしい』というキャッチフレーズは、実はとんでもない表現なのです」とあるが、その理由としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号13】

- 1、「地球にやさしい」という発想は、つきつめていくと人間の生存環境を脅かす考え方を含んでいるから。
- 2、「地球にやさしい」という発想は、人間本来の優しさからであるが、他の生物のことは考慮せず人間中心主義の視点から考えているから。
- 3、「地球にやさしい」という発想は、人間が活動した結果として環境が悪化してしまったことを反省し、善悪の立場で環境問題を捉えているから。
- 4、「地球にやさしい」という発想は、一見、人間の過失を認めているようであるが、実際は他の生物を無視した地球環境の保全を考えているから。

問十、空欄 ㍷ に入る語としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号14】

- 1、謙虚さ
- 2、奔放さ
- 3、傲慢さ
- 4、敬虔さ

問十一、次の一文を挿入する箇所としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号15】

この意味で、汚染とは何なのか、その本質を考えることは重要です。

- 1、【a】
- 2、【b】
- 3、【c】
- 4、【d】

二、16～20について、正しい読みを1～4から選びなさい。

【解答番号16～20】

- | | | | | | |
|----|----|---------|---------|---------|----------|
| 16 | 裂創 | 1、れつしょう | 2、れつそう | 3、さつそう | 4、きつそう |
| 17 | 疼痛 | 1、とうつう | 2、どんつう | 3、けいつう | 4、きようつう |
| 18 | 喀出 | 1、かしゅつ | 2、かくしゅつ | 3、かつしゅつ | 4、きやくしゅつ |
| 19 | 悪心 | 1、あしん | 2、あくごころ | 3、おしん | 4、おうしん |
| 20 | 憮然 | 1、むねん | 2、ぶねん | 3、ぶぜん | 4、りつぜん |

三、21～24の熟語の■に該当する漢字を1～4から選びなさい。

【解答番号21～24】

- | | | | | | |
|----|------|-----|-----|-----|-----|
| 21 | 興味■々 | 1、新 | 2、真 | 3、深 | 4、津 |
| 22 | 傍若■人 | 1、侮 | 2、無 | 3、夫 | 4、美 |
| 23 | 支離■裂 | 1、減 | 2、滅 | 3、破 | 4、分 |
| 24 | 試行■誤 | 1、策 | 2、索 | 3、錯 | 4、正 |

四、25～27の各傍線部の意味としてもつとも適当なものを、それぞれ1～4から選びなさい。

【解答番号25～27】

25 「私はサーキアを調査し終えてから、砂漠でこの音を聞くと、以前のように愉しい風物詩の二効果音としては聴けなくなつた。」（小泉文夫『音楽の根源にあるもの』）

- 1、観光地の物産を題材にした歌
- 2、天候に関する出来事を集めた書物
- 3、風景や季節をよく想像させる事物
- 4、季節を代表する景色を詠んだ詩

26 「そうならば、文学史も安心してあげつらうことができる。」（外山滋比古『異本論』）

- 1、選別する
- 2、認める
- 3、論ずる
- 4、否定する

27 「大通りを曲がり、仕舞屋が軒を連ねる筋に入ると、陽の沈むのを待ちあぐねた子どもたちが、道にうずくまってもう花火に火をつけている。」（宮本輝『泥の河』）

- 1、楽しそうに待った
- 2、気長に待った
- 3、いやになるほど待った
- 4、待つとはなしに待った

五、28～30の各作者の作品ではないものを、それぞれ1～4から選びなさい

【解答番号28～30】

- | | | | | | |
|----|------|-----------|--------|----------|------------|
| 28 | 夏目漱石 | 1、『坊ちゃん』 | 2、『舞姫』 | 3、『こゝろ』 | 4、『三四郎』 |
| 29 | 宮沢賢治 | 1、『風の又三郎』 | 2、『浮雲』 | 3、『春と修羅』 | 4、『銀河鉄道の夜』 |
| 30 | 太宰治 | 1、『山椒魚』 | 2、『斜陽』 | 3、『人間失格』 | 4、『走れメロス』 |